

(2011年06月29日実施)

## 第8回 JOMF 特別企画セミナー 東京開催のご報告 (記事スタイル)

2011年06月29日、TKP新橋ビジネスセンター カンファレンスルーム4Cにおいて 第8回JOMFミニ・セミナーが開催されました。今回は『高額化する海外医療費への対応セミナー』として、株式会社プレステージインターナショナルの中村干城取締役役に「海外派遣社員への医療費支援のあり方について」、社会福祉法人鶴風会東京小児療育病院の萩原麻美先生に「歯科医療費について考える・歯科医師の立場からの提言～歯科口腔疾患の予防が全身を守る～」というタイトルでお話戴きました。



左:中村氏(プレステージインターナショナル)  
右:萩原先生(鶴風会東京小児療育病院)

### 一節電ムードと酷暑の中での開催になりましたね？

A: 毎回雨に降られてしまうセミナーですが、参加された方たちの『雨ニモマケズ風ニモマケズ』の熱意に天気の方が負けたのか、今回はよく晴れた日の開催となりました。猛暑の中、お集まり戴いた皆さんにはお礼申し上げたいところです。  
遠いところでは、静岡からのご参加もいらして下さっていましたが、彼女もすっかりリピータになって戴けたのかな、と嬉しく思っています。この経営環境が厳しい中で、毎回静岡から参加されている彼女にも、また、彼女を参加させてくれている企業の上司の方の温かいご理解があればこそ、と思っています。今後ますますの内容充実を図り、会員企業の満足度向上に努めたいと考えています。

### 一参加者数は？

A: 24名の方に参加戴きました。これまでのアンケートで歯科セミナーの開催を要望されていた2名の方のうちのおひとりにも来て戴けました。男女別では女性12名、男性12名と夫々50%ずつとなり、職種別では人事・総務・安全管理等の一般参加者が20名、医療職の方が4名でした。大阪での開催はいつも人数少なめでアットホームなセミナーとなっておりますが、今回の東京もアットホームな感じで進み、後述しますが、Q&Aの場面では参加者との活発な意見交換もできたのではないかと思います。

### 一今回は大阪の方が東京開催より先になりましたね。

A: 今までは東京で30～40名前後の規模でセミナーを行い、そのあと巡業のごとく大阪に来ておりましたが、東京開催は3月16日の予定が3.11地震により様子を見るため延期とし東京⇒大阪のパターンが大阪⇒東京のパターンになってしまいました。東京で実施したセミナーアンケートに基づき、大阪でのセミナーは若干軌道修正をしたりしていたのですが、今回は大阪バージョンをパワーアップした内容になったのではないかと考えています。

### 一6月は二種類のセミナーを東京で開催という形になりましたね。

A: 6月3日開催の「感染症セミナー 一恐ろしい狂犬病スペシャラー」のことを仰っているのだと思います。3.11の影響で、大阪と東京の順番が変わってしまった中で、急きょ浮上したのが上述セミナーですが、一カ月に2つの異なるテーマでのセミナー開催というのは、今の基金の体制では少しハードでしたが、なんとか無事に開催出来てホッとしています。この感染症セミナーについては、秋には大阪で開催する予定です。そうでないと、会員企業間の東西格差がなくなりませんので。講師の先生方からは、2カ月先までは予定が入っているので、少し時間を取ってもらえれば大阪にも出張して感染症と狂犬病の恐ろしさとその対応等について講演しますとの力強いお言葉も戴いているので、何とか実現させたいと考えています。

### 一中村様の主な報告内容は？

A: 中村様の『海外派遣社員への医療費支援のあり方について』では、①海外医療費の現状、②医療費支援の実情、③医療費低減に向けた施策のポイントについて説明をされています。①については医療先進国である米国、医療費が急激に増加している中国の実情、②では現状をふまえた新しい医療費支援モデルをご呈示頂きました。③では歯科も含む高額治療費への対処、医療費低減の例を示されました。派遣企業にとって参考になる示唆に富む内容でした。



### —それでは、萩原先生の主な容は？

A: 萩原先生の「**歯科医療費について考える・歯科医師の立場からの提言～歯科口腔疾患の予防が全身を守る～**」では、先生のこれまでの **JOMF** の海外巡回専門医療相談への参加や、海外で実際に歯の悩みを持つ赴任者とご家族への相談を行った経験から、感じられていること、つまり、『海外での高い医療費を予防に注力することで低減は可能』というお話をいただきました。歯科の2大疾患であるむし歯と歯周病はいずれも感染症であり、予防が可能であることはあまり意識されていないかもしれません。更に虫歯というのは、不可逆性という特徴があるということから、予防をしっかりとしなければならないというお話です。予防手段の一つが日常行う歯磨きですが、お話の冒頭で先生から今日の昼食後に歯を磨いた方は？という質問に手を挙げられなかった方が、私も含めて何人かいらしたのですが、今日のお話を聞いたあとで生活習慣として取り入れられる方も出てくるのではないのでしょうか。また、赴任が決まってから治療が必要な場合も考えると辞令から赴任まで2カ月は準備期間が必要だとお話されましたが、意見交換の際に2カ月ではなく3カ月とした方がいいのではと大阪会場の参加者からの意見があったということも紹介され、医療者として心強く感じられたと思います。



### —余震はかなりおさまってきているとはいえ、心配では？

A: 実は私も少し心配していました。今でもマグニチュード5を超す地震も発生していますし、震源も東京に近くなってきているように思われます。実は基金内部でも何人かで『**Signal Now Express**』という地震のアラート・システムをインストールしているのですが、結構頻繁に地震が発生しているんですね。シグナルナウは『カエル』とも言われますが可愛い割には怖い地震速報をしてくれるシステムで、震源地がどこにあり、自分のいる場所での想定震度と到達予想病数が表記されます。無料でダウンロードできますし、携帯電話に連絡が入らない人でも **PC** を使う時間が長い人には便利かもしれません（警報音は放送局と同じ音です）。関西人の私には、そろそろ企業も東京を引き上げて大阪名古屋に移転すればよいのに、とも思えてしまいます。

### —先ほど後述すると仰っていたのは？

A: Q&A の際のお話です。入社時から色々な形でアプローチし、社員教育をしていらっしゃる会社の方から「**歯科疾患は自己責任**」というご意見が出ました。この方とのセミナー後の交信などにより、判ったことは、歯科問題についても通常のヘルスリテラシーの一環として、海外での日本と異なる生活習慣、受診行動、受診方法、価値観などについてされて教育しておくことが大事で、極論したら『日頃の自己責任を放棄して現場で歯が悪くなったという社員にまで会社が手厚く費用負担しているのは考えもの』というご趣旨なのですが、とても示唆に富む話と思います。翌日、この方のコメントについてのお問い合わせも何件か入ってきたということから、企業の人事総務の方にとって「目からうろこ」の情報だったように感じました。

### —次回ミニ・セミナーは？

A: 大阪での感染症・狂犬病セミナーは時期未定ですが、秋には実施したいと考えています。また、海外の駐在妻たちの子育て等に関する悩みも多い様で、子育てコーチング等の手法が有効かどうか、今研究中でして、GOとなればこれに関連したセミナーを実施してみたいと思います。勿論その前に、10月26日(水)に東京で海外医療情報交換会を開催しますが、メインテーマとして、「慢性疾患を抱えた人の赴任と現地での生活習慣病発症」に関連したものを企画しています。詳細情報はもう少しお待ちくださいね。

